

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

392

霊柩自動車運行事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		斎場費	
	大事業		斎場事業	
中事業		霊柩自動車運行事業		

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保険総務課	山本 聖也	435-1326
事業実施の根拠法令	和歌山市霊きゅう自動車使用条例・同施行規則			関連課	なし		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	対象者を霊柩自動車利用者とし、利用者の安全確保と低廉な料金による安定的な運行を行う。		霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復または片道)して、棺・遺族を搬送する。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、棺・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、棺・遺族を搬送する。	霊柩自動車使用の申請により、出棺場所(市内に限る)から斎場まで運行。	霊柩自動車使用の申請により、出棺場所(市内に限る)から斎場まで運行。	業務内容について、検討を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,475	1,447	1,087	605	919	394	580	0	580	0
伸び率(%)	△10.1%	△7.7%	△26.3%	△58.2%	△15.5%	△34.9%	△36.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,193	1,193	1,197	1,197	1,199	0	23,976	0	23,976
	正規職員以外	242	268	225	250	198	0	4,196	0	3,947
	小計	1,435	1,461	1,422	1,447	1,397	0	28,172	0	27,923
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	140	196	237	121	196	56	140	0	0	0
一般財源(税等)	1,335	1,251	850	484	723	338	440	0	580	0
所要人数(人)	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.00	3.00	0.00	3.00
	正規職員以外	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10	0.00	2.10	0.00	2.00
主な予算内訳	管理委託料 778千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
整備件数		件	目標値					
			実績値	3	3	2		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
運行件数		件	目標値					
			実績値	18	11	5		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
事故・故障件数		件	目標値	0	0	0		
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	霊柩自動車運行事業は、出棺先から斎場まで柩及び御遺族を搬送させていただいており、人生最後の葬送儀礼の一環を担う事業として行っているが、最近の利用は減少傾向にある。
見直し・改善内容	令和2年度については、業務内容について検討を行って行きます。